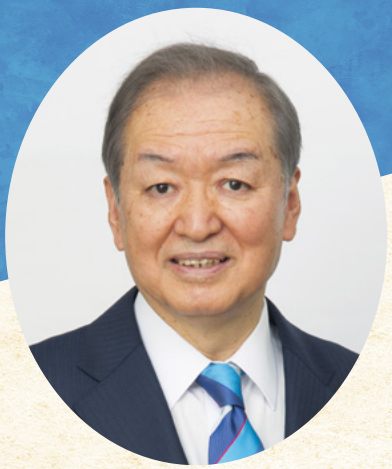


会長　山地 清



理事長　鷲塚 一夫

ごあいさつ

皆さまには日頃より「富山信用金庫」をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫の経営内容や様々な取り組みを知っていただくため、「とみしん REPORT 2026」を作成いたしました。ぜひ、ご高覧いただき、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いです。

当金庫は、1902（明治35）年4月に「富山売薬信用組合」として誕生以来、「相互扶助」の創業精神のもとに、地域とともに120余年もの長い歴史を築いてまいりました。これもひとえに、永年にわたる皆さま方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、2026年度は、中東情勢をはじめとする地政学リスクに加え、インフレ動向、金利動向、サプライチェーンの再編など、地域経済や事業者を取り巻く環境は引き続き不透明な状況が続くものと見込まれます。

こうしたなか、金融業界においては事業者との対話を深め、事業性評価を磨き、円滑な資金供給に加え、事業承継、事業再生、サプライチェーンの強靭化などの伴走支援が期待されております。

当金庫におきましては、2024年4月から開始された『中期経営計画』の最終年度として、様々な社会環境の変化を踏まえた組織体制や人的基盤の確立を目指すとともに、お客さまのニーズにお応えするため、課題解決力の強化やDXの推進に取り組んでまいります。これからも地域から愛され続け、お客さまの利便性、満足度の向上を図るため役職員一同一丸となって努力し、更なる金融サービスの充実を図り、協同組織の地域金融機関としての社会的使命を達成してまいる所存であります。

最後に、今後も格別のご厚情とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

2026年7月

会　長　山地　清

理事長　鷲塚一夫